

地獄に
STRAIGHT
TO HELL
墮ちるわよ



アタシの人生は面白いわよ



INTRODUCTION

富、名声、色恋
欲望のすべてを手にしたその陰にあつた、
衝撃の半生がいま明かされる。

人々の心を支配した
日本一有名な占い師・細木数子。
メディアを操り、国民を熱狂させた女の裏の顔とは？

独自に編み出した六星占術をうたい、「大殺界」「地獄に堕ちるわよ!」といった強烈ワードで占いブームを巻き起こした細木数子。レギュラー番組を抱え、著書は「世界で最も売れた占い本」としてギネス世界記録を樹立するなど、テレビ界や出版業界を席卷した。彼女は救世主か、それとも悪魔か——富も男も名声も吸い尽くすかのような、その圧倒的な生のエネルギーが人々を惹きつけた。

戦後の焼け野原で飢え、貧しさから脱するため高校を中退して夜の街で働きはじめ、20歳そこそこでナイトクラブを次々と成功させて銀座の女王と呼ばれた細木。夜の街で培った人心掌握術を駆使して、その後占い師として一斉を風靡するが、一方で、霊感商法や裏社会とのつながりなど、黒い噂が囁かれた女優の素顔とは——？

戦後復興期の新橋、銀座、赤坂の賑わい、高度成長期とオイルショックによる終焉、バブル経済期に視聴率と大金を産む寵児にかしづくマスコミ業界の内幕といった、昭和から平成にかけての60年にわたる風景を鮮やかに映像化しながら、女の壮絶な闘いと欲望渦巻く虚々実々のドラマが繰り広げられる。

17歳から66歳まで、細木数子の波乱の人生を演じたのは、人気と実力を兼ね備えた戸田恵梨香。転んでもただでは起きない底なしのバイタリーと、欲と高慢が招いた孤独を鮮烈に表現する渾身の演技は、監督の瀧本智行に「稀代のトリックスターがどうして生まれたのか、彼女の芝居を通して発見することができた」と言わしめたほど。そして細木の自伝小説を依頼される作家、魚澄美乃里役にNHK連続テレビ小説「虎に翼」のヒロインで全国区の人気を獲得した伊藤沙莉。細木の手蓮手管に絡め取られそうになりながらも、ある時からその

裏の顔を追求し対峙する美乃里。男を利用しながらの上がった昭和の女と、離婚して自立を模索するシングルマザー。二人の女の対決は、その生き様の違いもさることながら、二人に共通する人生に立ち向かう強さを浮かび上がらせてみせる。

その他、細木が“生涯にただ一人愛した男”堀田雅也役に生田斗真。細木の人生を暗転させる男たちには中島歩、田村健太郎、杉本哲太、奥野瑛太らが名を連ねる。昭和の大歌手・島倉千代子役には三浦透子がキャスティングされ、吹き替えなしで自ら歌唱。その澄んだ歌声は昭和の演歌の哀感と煌めきを体現している。さらに細木の母には富田靖子、義母に余貴美子、クラブ運営の実務を担う弟・久雄に細川岳、クラブの共同経営者・中國に高橋和也、晩年に細木が結婚誓約書を交わしたと主張した易学者・安岡正隆役に石橋蓮司、その娘役に市川実和子など、豪華俳優陣が細木の怒涛の人生を鮮やかに彩る。

監督は、映画『脳男』、『去年の冬きみと別れ』の瀧本智行と、『ガンニバル』シーズン2の大庭功睦。人間の本質に鋭く迫りながら、社会性を織り込んだ重厚な演出で高く評価されてきた瀧本は、細木の激動の半生を、緻密かつ力強い映像で描き出す。大庭はNetflixとともに企画初期から本作に関わり、徹底したリサーチをもとに細木数子という圧倒的なキャラクター構築に貢献した。脚本は真中もなか。撮影は「今際の国のアリス」シリーズの河津太郎。昭和から平成の東京を創出した美術は日本アカデミー賞の常連・原田満生。また、蛇笛を使ったメインテーマをはじめ、見る者の心をゾクゾクさせる音楽は、NHK大河ドラマ「どうする家康」の音楽等でも知られるピアニスト・作曲家の稲本響が担当し、映像と音の一体化によって細木の人生の激烈さをより深く刻み込む。

人々の心を支配し、絶大な人気と莫大な富を掴んだ占い師——その黒く塗りつぶされた半生が、いま、ついに明かされる。





占い師・
細木数子 (戸田恵梨香)

欲望の全てを喰らい尽くした
女の正体とは――。

「地獄に墮ちるわよ!」

強烈なキメ台詞で平成のテレビを席卷した
占い師・細木数子 (戸田恵梨香)。著書は“世界で最も売れた占い本”と
してギネス世界記録に認定され、社会現象を巻き起こした。しかし、その毒
舌と予言の裏には、銀座の夜を生き抜いた“伝説の悪女”の素顔があった。

2005年、テレビ局にリムジンで乗りつける視聴率女王・細木数子。売れ
ない作家・魚澄美乃里 (伊藤沙莉) に舞い込むのは、その“自伝小説”の
執筆依頼。細木に取材を進めるうちに見えてくるのは、戦後の焼け跡で
飢えていた少女が銀座の女王へとのし上がった軌跡。騙し、騙され、生き
抜くためなら手段を選ばず、愛と金と運命を手玉に取り、巨万の富を掴む。
そしてヤクザと手を組み、占いで天下取りを狙う。さらに、歌姫・島倉千代子
の救済で伝説は加速する。

ところが、右腕にして弟の久雄 (細川岳) が放つ一言が、すべてを覆す。
「姉の話は真っ赤な嘘だ」。神話は反転し、暴かれるのは女帝の“裏の顔”。
この女、一体何者だ――救世主か、それとも悪魔か。

売れない作家・
魚澄美乃里 (伊藤沙莉)



細木の愛犬・
ティアラ



御曹司と結婚するも、
3ヶ月で離婚

暴力団幹部との
繋がり

『六星占術による
運命の読み方』を刊行

生涯愛した男

自殺未遂

「白い手袋」に火を放つ

演歌歌手・島倉千代子(三浦透子)の
後見人に――



“欲しいものはすべて手にいれる”

PRODUCTION NOTE

今、なぜ細木数子なのか

女性の強烈な人生を描くキャラクタードラマの題材を探していたNetflixプロデューサー・岡野真紀子が、まず手に取ったのは細木数子自身による「女の履歴書」だった。転んでもただでは起きない女の生き様に魅了される一方で、数々の暴露本や週刊誌記事を読み漁るうちに、彼女の“どの顔が真実なのか”が揺らぎ、深い迷宮へと迷い込む——この女は一体何者なのか。知りたいという欲求に突き動かされ、知れば知るほどあっぱれな生き様に引き込まれていく中で、岡野は彼女の内に、いまの時代に失われた“パワー”を見いだしたという。極貧の出自から、欲しいものためには手段を選ばずにのし上がっていったその人生。そのエネルギーと破天荒さは、いまこそ描くべき“現代の女の物語”になる。岡野はそこに、「全裸監督」に続く圧倒的なキャラクタードラマの可能性を確信。綿密な取材と資料読解を下敷きに、事実を基にしたフィクションとして再構成し、「地獄に堕ちるわよ」は誕生した。



戸田恵梨香が、 細木数子の“表と裏”を生きる

「アンタ死ぬよ」「地獄に堕ちるわよ」などの強烈なキメ台詞やアクの強い風貌でTVの視聴率女王として君臨した細木数子は当時60代。しかし彼女には、ミス渋谷に選ばれたという可憐な10代、チャーミングな銀座の女王として人気を集める20～30代もあった。そんな幅広い年齢とのし上がる過程で使い分ける“表と裏の顔”を演じ切れる演技力とカリスマを持ち合わせるのは彼女しかいないと、岡野が直感的に自羽の矢を立てたのが戸田恵梨香。決め手となったのは、強い目力と声質。監督の瀧本智行自身も撮影しながら「あの稀代のトリックスターがどうして生まれたのか、彼女の芝居を通して発見することができた」と、細木を生きた戸田の演技に助けられたことを告白する。



占いにそれほど興味がなく、傍若無人なキャラクターに嫌悪感さえ持っていた作家、魚澄美乃里

は、取材を通して、戦後の焼け野原からのし上がった細木数子の底なしのパワーに魅了されてゆく。美乃里が細木の自伝小説を依頼される2005年は、監督の瀧本が監督デビューした年。もし自分がデビュー当時、細木数子の映画を依頼されたらどうしただろう?と考える、瀧本は分身のような美乃里というキャラクターを脚本に書き込んだ。分身役を女性にしたのは、「今より女性が生き辛かった時代を突破してきた細木が、小説では食べていけないシングルマザーの作家を取り込んでいく物語の中に、細木の懐の深さや魅力を描けるのではないか」という思いから。その狙いは見事に当たり、ドラマは昭和と令和、「持てなかったのは子供だけね」と言い切る細木と、離婚して幼い娘を懸命に育てるシングルマザーの美乃里を対比させながら、時代における女性の生き方の違いや普遍的なエネルギーを引き出して魅せる。中盤のどんでん返し以降、作家としての信念から反旗を翻して独自取材を進める美乃里を演じるのは、NHK連続テレビ小説「虎に翼」の大ヒットが記憶に新しい伊藤沙莉。戸田扮する強烈な細木数子と伊藤による美乃里との対峙が細木の隠された顔をスリリングに炙り出してゆく。

細木数子とシングルマザー作家との対峙



細木数子の水商売の才能を見出すキャバレーオーナー・落合役に奥野瑛太、玉の輿の結婚相手・三田役に田村健太郎、数子を手玉にする謎の男・須藤役の中嶋歩、細木を陥れるヤクザの男・滝口役に杉本哲太、そして細木が生涯で誰より愛した堀田に生田斗真。人気と実力を兼ね備えた男優陣が数子を取り巻く裏社会のニヒルな男を演じれば、シンガーとしても活躍する三浦透子が大演歌歌手・島倉千代子に扮して情感豊かな歌声で魅了する。そのほか細木数子の母・みね役に富田靖子、義母・キヨ役に余貴美子、細木の右腕としてクラブ運営の実務を担う弟・久雄に細川岳、母が営むおでん屋の常連客の投資家・中國役に高橋和也、陽明学者・安岡正隆親子に石橋蓮司と市川実和子など、実力派の豪華キャストが個性豊かに濃密なドラマを盛り立てる。

脇を固める実力派の豪華キャスト

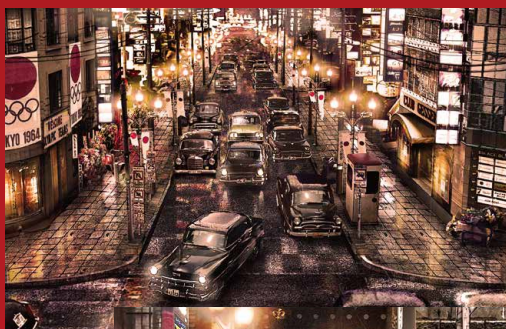
アメリカンポップスとスリリングなテーマ曲

「Mr.Sandman」「Only The Lonely」「I Will Follow Him」……。細木の心情を代弁するかのような洋楽ヒットメロデーがポップに時代を彩る。また劇伴を担当したのは、NHK大河ドラマ「どうする家康」の音楽等で知られる作曲家・稲本響。映像を見ることなくシナリオを読んだだけで、稲本はインドから蛇笛を取り寄せて自ら吹き、一度聴いたら忘れられないメインテーマを生み出した。まさしく細木数子の放つパワーの禍々しさをイメージした曲は、次エピソードをノンストップで求める気持ちを掻き立てる絶妙な効果を発揮する。



没入感を生む時代の風景

2005年、細木全盛時代のカラー映像から細木の幼少期へと映像が切り替わると、硝煙が立ち昇る戦後の風景が広がり、モノクローム世界の中、幼い細木のスカートと彼女が見つめる街娼のドレスだけが赤く目に飛び込んでくる。焼く野原と闇市という細木の原風景のリアルをVFXチームとともに創り出したのは、『亡国のイージス』等、阪本順治監督作をはじめ、日本アカデミー賞常連の美術監督 原田満生と、『キングダム』シリーズの撮影監督河津太郎。監督の瀧本が「日本映画ではこれまでにない絵に仕上がりました」と語る通り、新橋の赤煉瓦ガード下、和光の時計台がそびえる銀座通り、そして『花様年華』の赤をキーカラーに白い螺旋階段が伸びる巨大セットを組んでの赤坂のナイトクラブまで――圧巻のスケールで浮かび上がる時代の景色が、見る者の没入感を誘う。



私物のハイブランド豪華衣装

衣装にもとことんこだわった。各時代の細木を彩る装いは、スタイリスト・額額春樹が戸田恵梨香に合わせて一からデザインしたオーダーメイド服に加え、時代感に即して買い付けたアイテムを重ねて構成。さらに、往年の細木が実際に愛用したエルメスの〈バーキン〉や毛皮のコート、アルマーニなどの逸品は、娘のかおりさんが大切に保管してきた遺品を特別に借用した。本物だけが放つ存在感が、彼女の“威光”をスクリーンに宿す。





CHRONOLOGY

細木数子 激動の人生クロニクル

1945 (昭和20) 年

数子 7 歳

2月、父・之伴が病死。
8月、終戦。
細木一家は稼ぎ頭の
父親無しで渋谷で自活する。



1950 (昭和25) 年

12 歳

朝鮮戦争勃発

1951 (昭和26) 年

13 歳

家業の「娘茶屋」で接客と売春の
客引きを始める。
十中八九の成功率を誇った。
サンフランシスコ平和条約締結。

1955 (昭和30) 年

17 歳

「白い手袋」でホステスを始める。
丸の内に喫茶店「ポニー」を開店。
初体験を済ませる。
猫いらずを食べて自殺をはかる。

1957 (昭和32) 年

19 歳

新橋に「クラブ潤」を開業。
この翌年、東京タワー完成。

1960 (昭和35) 年

22 歳

カラーテレビ放送開始。
日米新安全保障条約締結。



1961~62 (昭和36~37) 年

23~24 歳

銀座に進出。
クラブ「メルバ」の雇われママを経て
「かずさ」を開業。名物ママとして鳴らす。

1963 (昭和38) 年

25 歳

静岡の眼鏡屋の御曹司と結婚。
が、耐えられず3ヶ月で飛び出し離婚。

1964 (昭和39) 年

26 歳

東海道新幹線開業。
東京オリンピック開催。

1966 (昭和41) 年

28 歳

銀座に「かずさ」「だりあ」
「クラブだりあ」の3軒を構えて“夜の女王”に。



1969 (昭和44) 年

31 歳

アポロ11号、人類初の月面着陸。

1971 (昭和46) 年

33 歳

「だりあ」に現れた客に騙され、
数子は10億円の負債を抱える。
実母・みつ死去。
絶望し、自殺未遂を起こす。

1972 (昭和47) 年

34 歳

あさま山荘事件。沖縄返還。
日中共同声明。

1973 (昭和48) 年

35 歳

「艶歌」で二率会幹部の
堀尾昌志と知り合う。
やがて二人は内縁関係に。

1974 (昭和49) 年

36 歳

赤坂にディスコ「マンハッタン」を開業。
この頃、占い師・神照玲と会う。

1976 (昭和51) 年

38 歳

ロッキード事件



1977 (昭和52) 年

39 歳

鳥倉千代子の後見人となり、堀尾と3人の共同生活がはじまる。ダッカ日航機ハイジャック事件。



1980 (昭和55) 年

42 歳

借金を完済した鳥倉と絶縁。時を同じくして、堀尾からの申し出により内縁関係を解消。

1982 (昭和57) 年

44 歳

初の著作「六星占術による運命の読み方」を刊行。メディア等の表舞台で頭角を現す。



1983 (昭和58) 年

45 歳

安岡正篤と知り合い、強引に婚姻届を文京区役所に提出。安岡家はこれに対抗し、婚姻を無効とする調停を申し立てた。年末、安岡氏は心不全により死去。三宅島大噴火。

1985 (昭和60) 年

47 歳

日本航空123便墜落事故

1986 (昭和61) 年

48 歳

「大殺界」シリーズ400万部突破。チェルノブイリ原発事故。



1988 (昭和63) 年

50 歳

「週刊ポスト」誌上でセミ・ヌードを披露。同誌で黒木香と対談。京都に30億円かけた豪邸を新築した。リクルート事件。青函トンネル開通。瀬戸大橋開通。

1990 (平成2) 年

52 歳

「週刊文春」で京都の墓石屋が「細木先生を通じてウチにきはるお客さんで、年間十億円の売上がありますのや」と発言。東西ドイツ統一。



1991 (平成3) 年

53 歳

バブル崩壊



1992 (平成4) 年

54 歳

12月、堀尾昌志が死去。

1993 (平成5) 年

55 歳

佐賀市の主婦が、細木と上記墓石屋を相手取り、損害賠償請求を起こす。

1997 (平成9) 年

59 歳

詐欺事件の後、数年の沈黙を経て復活。この頃より関西テレビ「怪傑えみちゃんねる」にて自身の占いコーナーをもつ。



CAST

戸田恵梨香

— 細木数子 役

1988年、兵庫県生まれ。圧倒的な存在感と高い演技力でドラマ・映画の第一線で活躍。主な出演作に、ドラマ「라이어ゲーム」(07)、「コード・ブルー ドクターヘリ緊急救命～」シリーズ(08-18)、「SPEC～警視庁公安部公安第五課 未詳事件特別対策係事件簿～」シリーズ(10-13)、「大恋愛～僕を忘れる君と」(18)、NHK連続テレビ小説「スカーレット」(19)、「ハコヅメ～たたかう!交番女子」(21)、映画『駆込み女と駆出し男』(15)、『母性』(22)など。2026年1月から放送の日曜劇場「リポート」に出演。



ERIKA TODA as KAZUKO HOSOKI

伊藤沙莉

— 魚澄美乃里 役



SAIRI ITO as MINORI UOZUMI

1994年、千葉県生まれ。生まれ持った芝居のセンスと確かな演技力で、シリアスからコメディまで幅広い役柄を自在にこなし、ドラマ・映画・舞台で活躍。ギャラクシー賞テレビ部門個人賞、ブルーリボン賞助演女優賞、山路ふみ子女優賞、文化庁芸術祭放送個人賞、橋田賞、放送文化基金賞演技賞ほか受賞歴多数。主な出演作にNetflix映画『ボクたちはみんな大人になれなかった』(21)、映画『ちょっと思い出しただけ』(22)、『風のマジム』(25)、『爆弾』(25)。ドラマでは、Netflixシリーズ『全裸監督』(19-21)、『ミステリと言う勿れ』(22)、『ももさんと7人のパパゲーノ』(22)、NHK連続テレビ小説『虎に翼』(24)など。

生田斗真

— 堀田雅也 役



TOMA IKUTA as MASAYA HOTTA

1984年、北海道生まれ。1996年にNHK Eテレ「天才てれびくん」に出演後、ドラマ「花ざかりの君たちへ～イケメン♂パラダイス～」(07)や「魔王」(08)などで注目を集める。2011年、主演映画『人間失格』と『ハナミズキ』でキネマ旬報ベスト・テン新人男優賞とブルーリボン賞新人賞受賞。「俺の話は長い」で東京ドラマアワード2020 主演男優賞受賞。Netflix作品は「さよならのつづき」(24)、『Demon City 鬼ゴロシ』(25)に続く3作品目の出演となる。

CAST

三浦透子

—— 島倉千代子 役



TOKO MIURA as CHIYOKO SHIMAKURA

1996年、北海道生まれ。映画、ドラマなど多くの作品に出演。映画『ドライブ・マイ・カー』(21)では日本アカデミー賞新人俳優賞をはじめ数々の賞を受賞。主な出演作に、主演映画『そばかす』(22)、ドラマ「エルピスー希望、あるいは災いー」(22)、主演ミュージカル「VIOLET」(24)など。映画『天気の子』(19)では主題歌を歌唱し、同年の紅白歌合戦にも出演。

中島歩

—— 須藤豊 役



AYUMU NAKAJIMA as YUTAKA SUDO

1988年、宮城県生まれ。2013年、舞台「黒蜥蜴」で俳優デビュー。連続テレビ小説「花子とアン」(14)で朝ドラ初出演後、初主演映画「グッド・ストライプス」(15)でTAMA映画賞最優秀新進男優賞受賞。主な出演作に、ドラマ「不適切にもほどがある!」(24)、連続テレビ小説「あんぱん」(25)、「愛の、がっこう。」(25)、など。W主演を務めるドラマ「俺たちバッドバーバーズ」が、2026年1月から放送。

奥野瑛太

—— 落合元 役



EITA OKUNO as HAJIME OCHIAI

1986年、北海道生まれ。映画『SRサイタマノラッパー』(19)で注目を集め、シリーズ3作目『SRサイタマノラッパー ロードサイドの逃亡者』(12)で映画初主演を飾る。映画『死体の人』(23)、『心平。』(24)でも主演を務める。その他の主な出演作に、映画「アルキメデスの大戦」(19)、『すばらしき世界』(21)、『ラーゲリより愛を込めて』(22)、Netflixシリーズ「さよならのつづき」(24)など。

細川岳

—— 細木久雄 役



GAKU HOSOKAWA as HISAO HOSOKI

1992年、大阪府生まれ。2014年、映画『ガンバレとかうるせえ』でデビュー。『佐々木、イン、マイメイン』(20)で、おおさかシネマフェスティバル2021にて日本映画新人男優賞、ヨコハマ映画祭審査員特別賞受賞。近年の主な出演作に、映画『ミッシング』(24)、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(22)、連続テレビ小説「舞いあがれ!」(22)、「虎に翼」(24)など。

田村健太郎

—— 三田麻呂彦 役



KENTARO TAMURA as MAROHIKO MITA

1986年、東京都生まれ。ドラマ、映画、舞台などで数多くの作品に出演。近年の主な出演作に映画『すばらしき世界』(21)、『マイスモールランド』(22)、『猫と塩、または砂糖』(22)、『ほつれる』(23)、『ぼくのお日さま』(24)、『金髪』(25)、Netflix映画『新幹線大爆破』(25)、ドラマでは大河ドラマ「どうする家康」(23)、「ブラッシュアップライフ」(23)「ホットスポット」(25)など。

中村優子

—— 聖瀬玲 役



YUKO NAKAMURA as MIREI SEI

1975年、福井県生まれ。主演映画『火垂』(00)でブエノスアイレス映画祭最優秀主演女優賞受賞。『ストロベリーショートケイクス』(05)ではヨコハマ映画祭最優秀助演女優賞を受賞。主な出演作に、映画『血と骨』(04)、『クヒオ大佐』(09)、『野火』(14)、『コンヒへ』(20)、『彼方のうた』(23)、『箱男』(24)、『未来』(26)、連続ドラマW「北斗 -ある殺人者の回心-」(17)、「燕は戻ってこない」(24)など。

市川実和子

— 加藤十和子役



MIWAKO ICHIKAWA as TOWAKO KATO

1976年、東京都生まれ。1990年代よりモデルとして活躍、カリスマ的人気を得る。映画『リライ・シュシュのすべて』(01)で注目を集め、『コンセント』(02)や短編『渴いた花』(04)で主演を務める。主な出演作に、映画『青葉家のテーブル』(21)、『ずっと独身でいるつもり?』(21)、Netflix映画『ちひろさん』(23)、ドラマ『僕達はまだその星の校則を知らない』(25)、『人間標本』(25)など。

余貴美子

— 三田キヨ役



KIMIKO YO as KIYO MITA

1956年、神奈川県生まれ。劇団「東京吉組」に在籍後、映画、ドラマへ活動の場を広げ、映画『あ、春』『学校III』(98)で日本アカデミー賞ほか主要助演賞を受賞。以降も、毎日映画コンクール田中絹代賞(08)、『おくりびと』(08)『ディア・ドクター』(09)で日本アカデミー賞最優秀助演女優賞を2年連続受賞するなど、受賞歴多数。19年、紫綬褒章を受章。

高橋和也

— 中園栄一役



KAZUYA TAKAHASHI as EIICHI NAKAZONO

1969年、東京都生まれ。88年、4人組ロックバンド「男闘呼組」としてデビュー。93年の活動休止後は俳優として活躍の場を広げ、舞台「エンジェルス・イン・アメリカ」(94)、映画『KAMIKAZE TAXI』(95)、ドラマ「寺子屋ゆめ指南」(97)で主演を務める。是枝裕和監督作への出演も多く、Netflixシリーズ「舞妓さんちのまかないさん」(23)にも出演。現在もミュージシャンとしても精力的に活躍している。

石橋蓮司

— 安永正隆役



RENJI ISHIBASHI as MASATAKA YASUNAGA

1941年、東京都生まれ。「劇団若草」「劇団青俳」「現代人劇場」などを経て、現在「劇団第七病棟」主宰。演劇、映画、テレビにおいて、強い個性と演技力で異彩を放つ。『浪人街』(90)、『われに撃つ用意あり』(90)で日本アカデミー賞最優秀助演男優賞ほか受賞。20年には19年ぶりに「一度も撃ってません」に主演し、話題を集めた。主な出演作に映画『竜馬暗殺』(74)、『四十七人の刺客』(94)、『今度は愛妻家』(10)、『アウトレイジ』(10)、『孤狼の血』(18)など。公開待機作に『木挽町のあだ討ち』(26)、『スペシャルズ』(26)がある。

杉本哲太

— 滝口宗次郎役



TETTA SUGIMOTO as SOJIRO TAKIGUCHI

1965年、神奈川県生まれ。83年、『白蛇抄』で映画デビューし、日本アカデミー賞新人賞他数々の賞を受賞。近年の主な出演作に、ドラマ「ペンディングトレイン-8時23分、明日 君と」(23)、『Eye Love You』(24)、『団地のふたり』(24)、『スティンガース 警視庁おとり捜査検証室』(25)、映画『マッチング』(24)、『帰ってきた あぶない刑事』(24)、Netflix映画『シティーハンター』(24)など。

富田靖子

— 細木みね役



YASUKO TOMITA as MINE HOSOKI

1969年、福岡県出身。1983年、映画デビュー作となる『アイコ十六歳』で日本アカデミー賞新人俳優賞、『あ・うん』(89)で助演女優賞受賞。近年の主な出演作に、映画『めんたいびりり〜パンジーの花』(23)、『シサム』(24)、『線は、僕を描く』(22)、『向田理髪店』(22)、『風のマジム』(25)、連続テレビ小説「スカーレット」(19)、『燕は戻ってこない』(22)など。本作では「スカーレット」に続き、戸田と親子役に共演。



“狂おしいまでの恋はすべて孤独から生まれる”



STAFF

瀧本智行

— 監督 —

TOMOYUKI TAKIMOTO

1966年、京都府生まれ。2005年映画『樹の海』で監督デビュー。同作で東京国際映画祭日本映画・ある視点部門作品賞・特別賞受賞。主な作品に映画『犯人に告ぐ』(07)、『イキガミ』(08)、『スーパオペラ』(10)、『星守る犬』(11)、『はやぶさ遙かなる帰還』(12)、『脳男』(13)、『去年の冬きみと別れ』(18)など。

大庭功睦

— 監督 —

NORICHIKA OBA

1978年、福岡県生まれ。熊本大学卒業後、日本映画学校を経てフリーランスの演出部として映像業界に入り、映画『ノラ』(10)、『キュクロプス』(18)などの自主製作を経て、『滑走路』(20)で商業作品の監督デビュー。近年は「ガンニバル」シーズン2(25)の第4話を監督し、また、Netflixでは『新幹線大爆破』(25)の脚本を担当(中川和博と共著)している。

稲本響

— 音楽 —

HIBIKI INAMOTO

1977年、大阪府生まれ。ピアニスト・作曲家。3歳でピアノを始め、5歳でステージデビュー。18歳でドイツへ留学し、ピアニストの巨匠：アルフレッド・コルトーの奏法を身につけ独自の改良を加える。本人仕様の特注ピアノ「STEINWAY&SONS(NEW YORK)」を全国の各コンサート会場やレコーディングスタジオに毎回持ち運ぶという世界でも稀なスタイルを持つ。ベルリンフィルのトップメンバーとも共演。作曲・音楽監督も務め、国内外で数々の賞を獲得。主な作品に映画『グラスホッパー』(15)、大河ドラマ「どうする家康」(23)の音楽を担当。

河津太郎

— 撮影監督 —

TARO KAWAZU

1969年、東京都生まれ。自主制作時代より多くの作品に関わり、映像企画レーベルAngle Picturesを佐藤信介と立ち上げ。ライティングも自分で設計する撮影監督のスタイルをモットーとして多くの劇映画、TVCM等を手がける。主な作品に映画『隣人13号』(05)、『日本沈没』(06)、『GANTZ』シリーズ(11)、『図書館戦争』シリーズ(13)、『アイムアヒーロー』(16)、『去年の冬、きみと別れ』(18)、『いぬやしき』(18)、Netflixシリーズ「今際の国のアリス」シーズン1～3など。『キングダム』(19)で日本アカデミー賞最優秀撮影賞受賞。

原田満生

— 美術監督 —

MITSUO HARADA

1965年、福岡県生まれ。阪本順治監督『愚か者 傷だらけの天使』(88)で美術監督としてデビュー。2000年、『顔』、『ざわざわ下北沢』で毎日映画コンクール美術賞、藤本賞特別賞を受賞。以後も『舟を編む』(13)、『日日是好日』(18)で毎日映画コンクール美術賞受賞。『亡国のイージス』(05)、『北のカナリアたち』(12)、『テルマエ・ロマエ』(12)、『許されざる者』(13)、『散り椿』(18)などで日本アカデミー賞優秀美術賞受賞。その他の主な作品に『バンクーバーの朝日』(14)、『半世界』(19)、『ゆきてかへらぬ』(25)、Netflixシリーズ「さよならのつづき」(24)など。

瀨瀬春樹

— スタイリリスト —

HARUKI KOKETSU

1980年、岐阜県生まれ。映画『まほろ駅前多田便利軒』(11)で衣裳デザイナーとしてデビュー。主な作品に『スパイの妻 劇場版』(20)、『ドライブ・マイ・カー』(21)、『こちらあみ子』(22)、『さかなのこ』(22)、『ぼくのお日さま』(24)、『Cloud クラウド』(24)など。

時代を彩る名曲たち

- * Mr. Sandman
- * Calendar Girl
- * I Will Follow Him
- * Downtown
- * Earth Angel
- * Big Girls Don't Cry
- * Misty
- * Only the Lonely
- * Besame Mucho
- * Sing Sing Sing
- * Qué Rico El Mambo
- * I Got It Bad And That Ain't Good
- * Only the Lonely
- * Ebb Tide
- * Parker's Mood
- * Crazy He Calls Me
- * Go Down Gamblin'
- * 人生いろいろ
- * 捧げる愛は
- * 愛のさざなみ
- * くちびるに歌を
- * 恋のバカンス
- * リンゴの唄
- * 鐘の鳴る丘～とんがり帽子～
- * 東京ドドンパ娘
- * セブントーン

DISCO
MANHATTAN

Netflix シリーズ 「地獄に墮ちるわよ」

出演

戸田恵梨香

伊藤沙莉 三浦透子 奥野瑛太 田村健太郎 中島歩

細川岳 細田善彦 周本絵梨香 金澤美穂 笠松将

永岡佑 中村優子 市川実和子 高橋和也 杉本哲太

余貴美子 石橋蓮司 富田靖子 生田斗真

監督 瀧本智行 大庭功睦

脚本 真中もなか

音楽 稲本 響

撮影監督 河津太郎 (JSC)

美術監督 原田満生

録音 高野泰雄

装飾 石上淳一

編集 高橋信之 岡崎正弥

スタイリスト 額額春樹

VFXスーパーバイザー 牧野由典

エグゼクティブプロデューサー 岡野真紀子 (Netflix)

プロデューサー 坂野達哉 深津智男

ラインプロデューサー 原田耕治

制作プロダクション ジャンゴフィルム

企画・製作 Netflix

話数 9話 (一挙配信)



本作品はマスコミ向けオンライン先行視聴システム、コンテンツプレビューをご用意しております。

【メディアセンターのご案内】 <https://media.netflix.com/ja/>
Netflix オリジナル作品の文字情報や静止画素材を収録しているデータベースサイトです。
マスコミ関係者様ご自身でサイトから素材をダウンロード頂けます。
ご登録の際には、下記担当PR会社にご一報ください。

【オンライン試写について】

Netflix上で、配信前の作品を先行視聴し、作品紹介やレビューにご活用頂ける全世界共通のマスコミ向けシステム「コンテンツプレビュー」をご用意しています。一部の作品でご利用頂けます。コンテンツプレビューのご利用には、【Netflixへのご加入】と【メディアセンターへのご登録】が必要となります。ご登録や使い方については下記宣伝担当までお問い合わせください。

宣伝お問い合わせ先

マンハッタンピープル E-mail: straighttohell@manhattanpeople.co.jp
有田 (070-6409-0269) 片川 (080-9742-3221) Ghost 志村 (080-3557-9782)
Netflix PR: 根本、加藤

2026年4月27日(月)より Netflixにて世界独占配信

<https://www.netflix.com/地獄に墮ちるわよ>
#地獄に墮ちるわよ #Straighttohell #Netflix

地獄に
墮ちる
わよ







NETFLIX